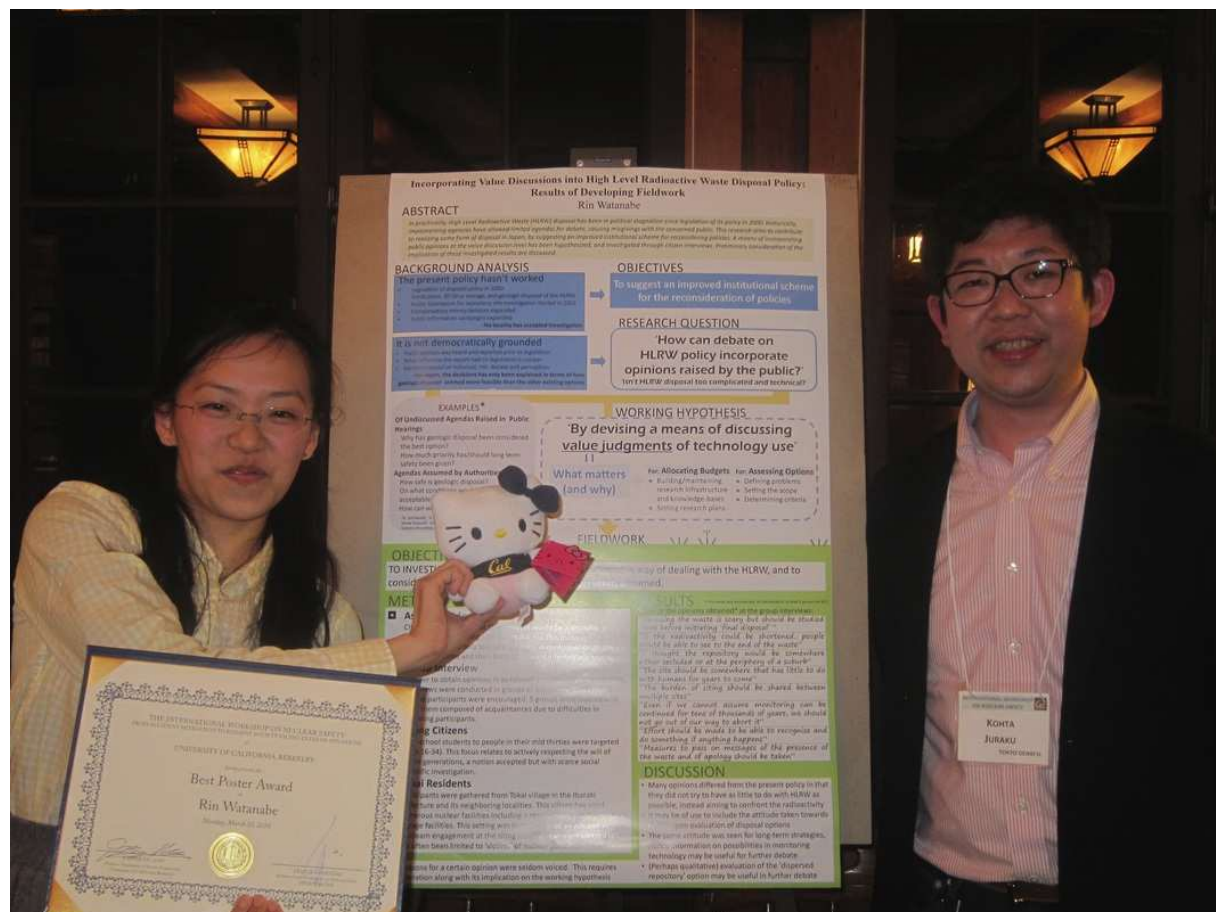


支援研究の概要と現在の研究テーマ

渡辺 凜

【平成 26・27 年度採択者】



・平成 26 年度の研究課題「どのような高レベル放射性廃棄物の“処分”が望ましいのか — 東海村における市民の意見の調査と分析—」

高レベル放射性廃棄物とは、原子力発電所の燃料をリサイクルしたときに生じる廃棄物で、東海村にも様々な形で貯蔵されています。放射線量がとても高いため、様々な仕方で固めた上で、地下 300 メートルより深い場所に処分場を作って埋める、ということが現在の日本で決められている“処分”です。

初年度の研究では、このような高レベル放射性廃棄物について、「どのように処分したら『ちゃんと処分できた』といえると思うか」ということを、東海村の若手市民に聞きました。

5回のグループインタビューと、1回のワークショップを通じて、様々な意見を聞くことができました。たとえば、「できる限り再利用を行ってほしい」「（埋め終わった時ではなく）無害になった時が『処分完了』だと思う」「もっと公平に処分する方法はないのか」「『埋めて終わり』ではなく、できる限り管理を続けたい」といった意見です。

レポート URL :

<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/material/files/group/16/5be40a733510a.pdf>

・平成27年度の研究課題「どのような高レベル放射性廃棄物の“処分”が望ましいのか ― 市民と専門家の対話と協働の手法開発―」

2年目の研究では、まず、1年目に調査した市民の意見について、どのような専門分野に関係しているかを調べました。たとえば、「高レベル放射性廃棄物の処分」や「放射線が健康に与える影響」、「放射性物質の利用・再利用」「原子力利用に関する政治的、国際的問題」といった分野です。

そして、それらの分野の専門家を探してインタビューし、実際に市民の意見を叶えるような技術やアイデアはあるか、あるとすればどんなメリットやデメリットのある方法か、ということ聞いて回りました。その結果、どの意見についても、実現するような方法がいくつかあることが分かりました。

次のステップとして、そうした技術やアイデアを組み合わせ、3パターンの「政策代替案」を考案しました。つまり、「高レベル放射性廃棄物を固めて、埋めて、人が管理しなくても将来まで安全な状態にする」という現在の計画に対して、「こういう“処分”の仕方もあるのではないか？」という別の案をまとめてみたのです。

簡単にいえば、考えついたのは次のような案です：

- ①現在の科学で分かっているかぎりの「危険」を最小化することを目指し、1ヵ所で処分する案
- ②まだやり方や危険性など開発されていないことも多いが、日本中で処分に取り組み、徹底的に高レベル放射性廃棄物を仕分けして、使えるものを再利用したり、無害化したりする案
- ③期限付きで（たとえば80年間）様々な方法やその危険性について研究してみてから、どうするかを決める案

最後は、この3つの案について専門家の集まるワークショップで考えを聞くことができました。

この研究を通じて、政策の結論が出せるわけではありませんが、このように「市民の意見を取り入れて原子力政策について考える」ことは可能だ、ということを示せたと考えています。とても専門的な分野であるだけに、一般の方が意見を話しづらかったり、専門家側も市民の意見を「知識不足だ」「具体的な代替案になっていない」と切り捨ててしまったりすることがあるため、有意義な研究結果ではないかと思います。

レポート URL :

https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/material/files/group/16/H27_watanabe.pdf

・現在の研究テーマ（キャノングローバル戦略研究所）

現在の所属であるキャノングローバル戦略研究所では、エネルギー政策、特に世界の気候変動対策に関する議論をリードしてきた欧州（EU）の気候変動・エネルギー政策の研究を行っています。

EU では「欧州グリーンディール」という名前の政策が気候変動・エネルギー政策の柱となっていますが、それは誰のための政策なのか、どんな社会をめざした政策なのか、といったテーマで分析をしてきました。

今年度からは、EU 政策の分析で学んだことを活かしながら、日本の気候変動エネルギー政策（「GX 政策」「GX 基本方針」などと呼ばれています）について考える研究会を立ち上げようとしています。「日本社会にとって、気候変動は何が問題なのか？」「日本が抱えている他の社会問題と気候変動問題はどのように関係しているか？」「世界全体に関係する問題である気候変動に対して、日本はなぜ取り組むのか、どのように国として取り組むべきか？」といった問題を考えたいと思っています。

こうした気候変動政策やエネルギー政策に関わる大きなテーマを考えることで、「日本はこれから原子力エネルギーとどのように付き合っていくべきか」「高レベル放射性廃棄物はどのような問題なのか、どのように付き合っていくべきか」といった、より具体的な問題についても、新しい見方を提示できるような研究をしたいと思っています。

研究員ページ URL :

<https://cigs.canon/fellows/be5440a8d6042e4ba7e8c73e00851c969c038428.html>